

Let's Go Global.

キャンパスで ハママツで 世界で



公立大学法人
静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

Faculty of Cultural Policy and Management / Faculty of Design

<http://www.suac.ac.jp/>

SUACで
未来をカエル
自分をカエル

SUACで
未来をカエル
自分をカエル



Let's Go Global.

グローバルに学ぼう

世界につながるトビラは、ひとつじゃない!

SUACのこと、
留学のこと、
ハママツのこと
私たちが
ナビゲートします。

SUACって身近な
グローバルワールド!

On campus — 国際文化学科 1年 内藤有紀

キャンパスで

英語や中国語のネイティブスピーカーの先生といつでも会話ができる「英語・中国語教育センター」は日本語禁止?!的な「学内留学」の場。海外からの留学生も学ぶグローバルな感覚あふれるSUACなら、キャンパスにいながら世界が体験できちゃいます。

自分で発見し、
自分で発信する
先輩たちってすごい!

In Hamamatsu — 国際文化学科 1年 川口祐之朗

ハママツで

ブラジル国籍の人が多いハママツは、様々な国の外国人が暮らすグローバルタウン。音楽の街として国際的なコンクールが開催されるなど、SUAC生たちもワールドワイドなイベントを、ハママツの街を舞台に企画・運営しています。

海外留学で
どんな経験をした
のかな?

In the world — 国際文化学科 2年 深津向日葵

世界で

SUACから世界へ!毎年たくさんの学生たちが語学研修や交換留学、海外でのNPO活動などを実現しています。世界に飛び出したセンパイたちに、留学の目的や海外での体験談などをリアルに語ってもらいました。

英語・中国語・フランス語・ポルトガル語・韓国語・インドネシア語・イタリア語・ドイツ語と、言語も文化も多彩に学べるSUAC。語学能力のアップはもちろん、学部間とのコラボ授業による学びや、海外からの留学生との交流もできるグローバルな世界にズームイン!



キャンパス内で
いろんな活動をしているね
いいね!!



NO.1
SUAC

キャンパスにいながら外国気分を体験! 英語・中国語教育センター [英中センター]

先生に友達感覚で
相談できちゃうのも
good♪



英中センター

活用ポイント

外国人教員が常駐、
いつでもおしゃべりOK

一人でフラッと来て、
友だちになれる

TOEICなどの
試験対策もサポート

海外からの留学生と
交流できる

イベントやプログラムに
参加すると楽しいよ

“おしゃべり”しながら 語学力アップ! 海外留学生の話も聞けちゃうよ

「Hello!」「你好!」ドアを開ければ誰かがいて、昼休みにランチをしながらおしゃべりを楽しめる。そんな気軽さが人気の英中センター。英語や中国語のネイティブスピーカーの先生や、海外からの留学生たちとの会話を通して、生きた外国語に触れ、そこから文化など興味をひろげていけることは、とても貴重でステキな体験!もちろん学習カウンセリングや試験対策、自由英中会話などの学習支援も充実。スピーチコンテストや語学研修など語学スキル向上や、サークルやイベントを通しての異文化理解など、身につくこともいっぱい。SUAC生にとって、世界につながるパスポート的な交流スポットです。

英中センターで
できること

学習支援

- 学習カウンセリング
- 各種試験対策
- 自由英中会話
- 映画、雑誌、新聞コーナー ほか

スキル向上

- ランチャイム英会話サークル(ESS)
- チャイニーズコーナー
- ディベート大会
- 海外語学研修
- 英語模擬国連 ほか

異文化理解

- 英語落語
- ハロウィンパーティー
- デザインワークショップ
- クリスマスパーティー ほか



NO.2
SUAC

目指すのは、世界に日本を 発信できる日本語教員

三輪 佳美 ● 国際文化学科4年

大きな
やりがいも
感じました



私が日本語教員になりたいと思ったきっかけは、日本語教員養成課程における実習でした。実習では、留学生やブラジル人の小学生に日本語を教えるのですが、その難しさを痛感するとともに、日本語や日本文化を伝えることの楽しさと大きなやりがいを感じました。SUACの日本語養成課程には、「日本語文法」「日本語研究」「日本語音声学」などの授業があり、日本語教育能力検定試験で大変役立ちました。また、イギリス留学での「異文化理解」「多文化共生」の在り方を学べたこと、アメリカでのインターンシップで実際の現場を見られた経験も私を成長させてくれました。日本語教員が教えることは、日本語だけでなく、文化やマナー、歴史など様々で、豊富な知識と経験が必要です。これから毎日が勉強だと思いますが、日本語教員は、世界に日本を発信できるとても魅力的な仕事なので、精一杯努めていきたいと思っています。



NO.3
SUAC

イタリアからの留学 日本の古典芸能について 論文を執筆

ALCANTAR MONICA ● アルカンタル モニカ

ボローニャ大学の博士課程で学んでいます。SUACでは「日本の古典芸能」の博士論文を執筆するため、梅若教授の下で研究指導を受けました。博士論文の執筆のために、「能」を実際に見る機会があったり、図書館の文献を調査したりと充実した日々を過ごせました。梅若教授のゼミに入り、日本の学生とも多くの交流を行いました。日本の学生の印象は、シャイでとても優しい。私は日本語があまり話せないで、英語やイタリア語で話をする機会が多かったのですが、多くの友人を作ることができました。

海外からの
留学生と、母国の
話を聞きたいな♪



インドネシアから3名の留学生が在籍



NO.4
SUAC

日本とバングラディッシュ の架け橋に

国際協力支援プロジェクト
「ちえれめいえproject」

関 佳央里 ● 国際文化学科3年

「ちえれめいえproject」とは?

“地球上のどんな場所においても学べる環境を”とバングラディッシュの少数民族の子どもたちの教育支援をするために、SUAC生が設立した国際協力支援プロジェクト。その小さな芽はみんなの手で育てられている。

バングラディッシュ人と日本の青年が交流する「若者学びあいツアー」を、毎春・夏休みに「ちえれめいえproject」で企画・運営しています。ホームステイや村歩きを通して現地の生活を肌で感じてもらいながら、お互いの国の文化や社会情勢を知り、学びあうのが大きな目的です。内気な性格の私は、初めはあまり自分から話しかけられませんでした。このままでは何も得られない!と思い、文法はめっちゃくちゃでもとにかく会話をしようと頑張りました。せっかく海外で活動するのなら、観光で終わらないよう、目的意識を持つことが大切だと思います。SUACには国際交流・国際協力のサークルがいくつもあり、イベントや勉強会もたくさんあるので、そういう場につながることで国際交流の第一歩になります。私は一人の先輩と知り合ったことから、歩幅がぐんぐん広がっていききました。「パワフルで積極的な人にしか国際協力はできない」と思って敬遠する人もいるかもしれませんが、そんなことはありません。ぜひ先輩に声をかけてみてください。

国際交流・
協力ボランティアで
活動中!



※学生の学年表記は取材時(2015年度)のものです。

SUACがあるハママツは、世界78カ国、約2万人の外国籍の人が暮らすグローバル都市！言葉や文化の違いを越えて、誰もがいきいきと暮らせるように、キャンパスから飛び出した学生たちが、様々な企画に参画しています。どんな活動をしているのかをインタビュー！



74カ国もの国籍の人々が集まってきていることもハママツの特徴のひとつ。特にブラジル人の登録者数の多さは全国屈指です。

●ブラジル／ 8,507 ●中国／ 2,469 ●韓国／ 1,214 ●インドネシア／ 673
●フィリピン／ 3,237 ●ペルー／ 1,682 ●ベトナム／ 1,469 ●その他／ 1,733

浜松市の外国人登録者数 [2015.11.1現在]

グローバルな意識は
このまちにとっても大切なことだね！



ブラジル系の中高生と 保護者のために！ 英語版・ポルトガル語版の 「大学案内」パンフレットを作成

川畑 徹 ● 国際文化学科2年



公立高校
100校に配布
しました

川畑さんの
活動は新聞でも紹介
されたんだよ



きっかけは、ボランティアのイベントの質問コーナーで保護者から「大学の授業料や奨学金はどのくらい？」「大学の学科内容を知りたい」という質問がでたことです。日本にいる外国籍の方の中には、子どもを大学に進学させたいという希望を持っている親もありますが、日本語がわからず、奨学金などの制度も詳しく調べられないことが多いのが現状です。そこで、その方たちのためにSUACの英語版とポルトガル語版のパンフレットを作って、配布できたらと思い、池上教授に相談したところ、賛同をいただき、制作費などの協力をいただきました。「わかりやすく、簡単に、印象に残る」をモットーに姉と協力して翻訳しました。このパンフレットは、静岡県内の公立高校100校に配付し、学校を通じて希望する親に見てもらいたいと思っています。これをきっかけに大学の情報が伝わり、また、SUACでも外国籍の学生が活躍していることを知ってもらえたらうれしいです。



「はままつグローバルフェア」で 得たもの

近藤 大祐 ● 文化政策研究科2年



子ども同士もつな
ぎ、学生と地域の実践者
もつなぐ仕事です



第5回はままつグローバルフェアのなかで、外国にルーツのある子どもを主な対象にしたプログラムの企画・運営を行いました。先輩や同年代のがんばりを実際に見てもらい、「自分も何かにチャレンジしてみよう」と思ってもらうことが目的でした。成果は大きく2点あります。1点目として、子どもたちが自発的にHICEの活動に参加した点が挙げられます。そのなかで、学校も年齢も国籍も違う子どもたち同士の交流を深めることができました。2点目に、今後の地域活動を担う学部1、2年次と地域の実践者とをつなぐことができた点です。実践者をつなげた学生がその後も地域で活躍している様子を見ると頼もしさを感じます。

多くの学生が「HICE(ハイス)」の事業に参画しています。

ものづくり産業を基盤として発展してきた浜松市には、多くの世界的企業が立地し、外国人市民が多数暮らしています。(公財)浜松国際交流協会「HICE」では、日本人市民と外国人市民が共に、お互いの文化や慣習を認め合い、共に地域社会で活躍できるまちづくりを推進するため、国際理解のためのフェスティバル「はままつグローバルフェア」をはじめ様々な講座や研修、イベントを実施しています。企画運営にSUAC生も参画しています。

英語カルタや絵本の読み聞かせなど、英語で 楽しく子どもたちと交流

浜松市とSUACの連携事業
English Workshop for Kids
～英語で遊ぼう！～

内藤 有紀 ● 国際文化学科2年



SUACでは、普段から他機関と連携してイベントを主催したり、お手伝いをする機会が多くあります。今回、私は浜松市と連携・協力して、学生による小学生向けの講座「イングリッシュワークショップ・フォー・キッズ」に参加。このワークショップでは、SUACの「英語・中国語教育センター」でネイティブの講師とともに英語力の向上を目指している学生が多数参加しました。私は英語の絵本の読み聞かせを担当し、ただ読むだけではなく、途中のアクティビティを通して覚えた単語でクイズを出したりして、子どもたちが楽しく英語に親しめるよう工夫しました。最初は、英語を話すことに少しためらいがある様子でしたが、慣れてくると子どもたちが積極的に発言してくれたため、とてもいい雰囲気でした。私たち学生も一緒に楽しむことができました。私は海外の人に日本語を教えることにも興味があり、大学では日本語教員養成課程を履修しています。今回は、日本人に英語に親しんでもらうという企画でしたが、外国語を教えるという点では日本語教員にも通じるところがあるため、ワークショップに参加したことは、私にとってとても良い経験になりました。



自分の経験を活かして、進路や就職の相談役に 外国籍や海外にルーツを持つ高校生をサポート

ミウラ サユリ ● 国際文化学科1年

COLORSで
活動中!



私たちCOLORSは、10人のグループで外国籍の生徒の多い高校に向向いて「総合」の時間にワークショップを行っています。私自身も、出向いている高校生と同じ経験をしてきたから、少しでも力になればなと思って参加しました。活動内容は、就職のこと、日本語能力試験のこと、面接での自己紹介の仕方のほか、帰化や大学進学のことまで幅広く行っています。生徒さんたちは、意欲的に取り組んでくれますし、校長先生からも良い評価をいただいています。私の思いとして、「外国籍を持っているから」と自分で理由をつけて、進学や夢を諦めてほしくないです。自分の可能性を信じ、将来を自分たちの手で開くことができると伝えたいです。



浜松国際ピアノコンクールで 英語による会場アナウンスを担当

大石 真由美 ● 文化政策学科3年

3年に一度浜松で開かれる浜松国際ピアノコンクールに、アナウンスボランティアとして参加しました。SUACからは、英語や音楽、またアナウンスに興味のある学生が15人ほど参加し、2週間にわたって日本語と英語での場内アナウンスを行いました。ボランティアを行う際に最も気を配った点は、英語の発音や区切り、読むスピードでした。海外から参加する演奏者、また観客に伝わらなければ意味がありません。今回参加することにより、改めて英語の重要さを実感したと共に、実践の場で英語を使うことで自信ができました。



良い経験
になりました

国際的な
コンクールの舞台で大役を
務めるのはすごい！



来日したイタリアの劇団員を 日本文化でおもてなし 浜松市内の神社で 「お月見の会」

米田 奈央 ● 国際文化学科4年



私は3年次後期から一年間、イタリアのフィレンツェ大学に留学していました。その経験もあり、イタリア伝統仮面劇「commedia dell'arte コンメディア・デッラルテ」の劇団が来日した際、大学教授からのすすめもあって公演のサポートスタッフを務めさせていただきました。準備の段階から当日まで3日間に渡り、イタリア人の俳優さんのアテンド、簡単な通訳を主に担当しました。3日目の夜には、浜松市内の神社で行われた「お月見の会」に参加し、一緒に日本の伝統行事を楽しみました。甘酒やお団子を片手に月を眺めるという日本らしい文化の体験にはイタリア人俳優さんたちにとっても喜んでもらえましたし、私自身、留学の経験を存分に活かすことができ、とてもいい刺激になりました。

留学するとどんなことができるの？ 国や学校によって違いはあるの？ 言語を学び、文化・風土に触れ、たくさんの友だちをつくり、様々な経験をする海外での学生生活。新しい自分を見つけたセンパイたちの体験を聞いてみよう！



自分の意志で
チャレンジすることが
大切だね



進学も留学も前向きにチャレンジ。 「世界を飛び回る仕事がしたい」 という夢もつかめた

サントス・ダニエリ ● 国際文化学科4年

高校時代にオーストラリアに語学研修に行ったことがきっかけで「世界中を飛び回りながら、いろいろな国籍の人と接する仕事がしたい」と思うようになり、SUACでは外国語だけでなく外国の文化についても積極的に学びました。2年次に韓国語が思うように身につかず、悔しい思いをしていたとき、韓国語の先生に「留学すればできるようになる」と背中を押してもらい、思い切って留学を決意。韓国では想像していた以上に多くのことを学ぶことができ、自分の世界も広がったと思います。私の家族はブラジルから来た移民家族で、幼い頃から感じてきた「在日外国人」をテーマに大学では研究していましたが、韓国への留学は「移民の流れ」について、さらに深く探求するきっかけになりました。大学への進学も留学もキャンピングアテンダントとしての道も、自分で拓いてきた私。みなさんも、がんばれば願いはきっとかないます！



日本の航空会社でCAになりました

- 留学先 湖西大学校 [韓国]
- 留学時期 2年次 [4ヵ月間]
- 費用 約50万 (給付金制度利用)
- 交換単位 10単位



同期入社のCA仲間と



最初はうまく話せなくても当然！ 気持ちをポジティブに切り替えて成長できた

近藤 真由 ● 国際文化学科3年

外国で暮らしてみたいという夢、漠然とした憧れから、フランスに留学しようと思いました。各国から留学生が集まるクラスに入ったので、まわりは私と同様にフランス語が話せない人ばかり。おかげで「言葉がうまく話せなくても当然！」と、気持ちを切り替えることで、間違いを恐れず発言できるようになりました。留学当初は、学外での会話、例えば、銀行ではフランス語を聞き取ることも、話すことも苦労して、常に電子辞書を持ち歩いていましたが、帰国する頃には、辞書なしで簡単な会話ができるくらい語学レベルは上がったと思います。留学したことで、フランスや他の国の文化にも触れることができ、「視野が広がる」ってこういうことだったんだと私なりに感じる事ができました。帰国後、全日本学生フランス語スピーチコンテストにチャレンジ。二次審査は突破できませんでしたが、来年また挑戦してみたいと思っています。

- 留学先 ブルゴーニュ大学 (国際フランス語センター) [フランス]
- 留学時期 2年次 9月末～3月 [約6ヵ月間]
- 費用 約150万円 (給付金制度利用)
- 交換単位 10単位
- 成果 フランス語検定4級→準2級取得

3年は必修科目があるから2年後期が留学のタイミング



友だち2人とパリへ。これはサクレクール寺院の前で撮った写真。行きたかったところに行けた楽しい旅行でした。



クラスメイトとの最後の授業、帰国する数日前に教室で撮った写真です。韓国人が多いクラスでした。



いま、韓国の友だち100人以上！ 身につけた韓国語を武器に将来が拓けた

野瀬 祐樹 ● 国際文化学科4年

K-POPが大好きという軽い気持ちで韓国語を学び始めたところ、ハングル語の面白さにはまり、1年間の交換留学へ。韓国人学生と同様に授業を受けるため、最初の3ヵ月くらいは、先生の質問の内容自体がわからず戸惑いましたが、携帯の翻訳アプリや、友だちに聞くなどして切り抜けました。学内にある留学生のためのハングル語教室「語学堂」でみっちり勉強。プライベートでも韓国人の友だちとも積極的に交流し、貪欲に語学を習得しました。おかげで韓国語能力試験で5級(韓国で専門的な職業に就けるレベル)を取得し、先生から「過去の留学生の中で1番の成績だ」と言われたときは嬉しかったです。留学中にできた友だちとはいまも交流が続き、卒業論文を書く際には、100人もの友人がメールでのアンケート調査に協力してくれました。就活中、海外出店のある飲食系の会社の面接で、「韓国に出店するなら自分が役に立ちます」との自己PRで内定を獲得。留学を通して自分のやりたいことが見つかり、将来の道も拓けました。

- 留学先 湖西大学校 [韓国]
- 留学時期 3年次 [1年間]
- 費用 約124万円 (給付金1ヶ月7万円+アルバイト代)
- 交換単位 20単位
- 成果 韓国語能力試験2級→5級取得*

* 韓国で専門的な職業に従事可能なレベル

語学力の鍛え方がハンパない！



最初の趣味はKARAからでした



家を建てることで人々の希望を築く国際支援団体「Habitat for Humanity」の活動に参加し、ベトナムへ行きました。煉瓦にセメントを塗って、一つずつ積み上げているところです。



フィンドレー大学には留学生のサポートセンターもあり、いろいろな国籍の人たちとの交流も生まれ、多くの友人ができました。放課後のサークル活動では、留学生が集まってディスカッションをしました。

勇気を出してアメリカへ！ 何でも挑戦してみようという自信がついた

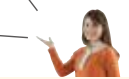
三浦 理沙 ● 国際文化学科3年

アメリカで生きた英語や文化を学ぶために留学を決意しました。渡米前に英会話のCDを使って勉強したものの、現地で聞く日常会話の速さやよく使うフレーズが覚えたものと全然違ったので、最初は英語を話すことに恐怖心を覚えてしまいました。そんなとき、日本語を勉強しているアメリカの友人が、簡単な英語からやさしく教えてくれたり、根気よく日常会話につきあってくれたおかげで自信を取り戻し、多くの人と話せるようになりました。留学中に言葉に困った体験を通して、帰国後は、同じような思いをしている在日外国人の支援をしたいと考えようになり、ベトナム人やブラジル人の子どもに日本語を教えるお手伝いをしています。留学に興味があったら、まわりの先輩や経験者に話を聞くのがおすすめ。ガイド本にはない情報を知ること、きっと「自分も行ける」と思うようになりますよ。



実はフタシ
最初の頃
英語に耳が
開いてました

アメリカの友人は、日本のアニメが大好きだったらしいよ



- 留学先 フィンドレー大学 [アメリカ]
- 留学時期 2年次 後期 [4ヵ月間]
- 費用 150万円 (給付金制度利用)
- 交換単位 12単位





- 留学先 ポローニャ大学【イタリア】
- 留学時期 3年次 後期【8月末～2月中旬 6ヵ月間】
- 費用 100万円（給付金制度利用）
- 交換単位 6単位
- 成果 イタリア語検定試験 CILS B2受験

街中に音楽や文化があふれるイタリア 芸術文化を学ぶ人にも おすすめ!

佐久間 直実 ● 芸術文化学科4年



アートマネジメントなど音楽分野に関心があり、イタリアの音楽文化を実際に見て来たいと思い、初めてとなる海外で留学することを決めました。最初の2カ月はまず言葉に慣れるために、ポローニャ大学内の留学生用イタリア語コースで学び、タンデムパートナーとはお互いの母国語で教え合い、私費で現地の語学学校にも通いました。その後、DAMS（芸術学科）で音楽系の授業を受けましたが、イタリア語の講義についていくのが難しかったです。初習言語の場合、半年間の留学では、語学に慣れるだけであつという間に終わってしまうので、できれば1年行くことをおすすめしたいです。私は音楽文化に触れるのが大きな目的だったので、オペラやコンサート、野外イベントなどを生で見られたことや、広場や教会など街の中に音楽があふれ、気軽に触れられる世界があることを知ることができたことで、価値観が変わり、文化政策を学ぶ上で大きな刺激になりました。



留学＝語学力の向上だけではない 留学中のプランを考え実行しモノにしよう

山口 裕司 ● 国際文化学科3年

入学前から中国に関心があり、入学当初から留学を考えていました。SUACで中国関連の講義や中国語の学びはもちろん、英語・中国語教育センターを活用しての学習にも取り組みました。留学先の大学では語学サポートはないので、大学の講義は中国語で受講。日本で語られる中国文化との差異や特徴を、両国の立場になって学習することができ、考え方に多様性が生まれたと思います。余暇中は、関心の高かった新疆ウイグル自治区に足を伸ばし、現地調査を実施。また、留学先の大学では、日本語教員の養成過程で必要となる実習として、日本語を教える授業も行わせてもらいました。留学＝語学力の向上と思いがちですが、語学は最低限でできれば留学に行けます。大事なのは、留学前にいかにプランを考え、留学中に実行し、帰国後どれだけモノにできたか、ということ。その国でしかできないこと、見られないもの、そこでしか経験できないことを、ぜひ狙ってみてください。



トラブルやハプニングも
成長へのいい経験に
なるんだって



アスコミで
言われている中国が
全てではない
中国は面白い

- 留学先 浙江大学城市学院【中華人民共和国】
- 留学時期 2年次 後期【9月～2月 6ヵ月間】
- 費用 約40万円＋奨学金8万円/月
- 交換単位 8単位
- 成果 中国語標準検定 新NSK5級*試験（筆記）193点
*中国語の新聞・雑誌を読んだり、テレビ・映画を鑑賞でき、整ったスピーチができるレベル

シルクロードの西域にある新疆バセクク千佛洞にて
5～14世紀につくられた77の仏教石窟が今もある。
中国とはいえ、ほとんどがアラビア文字の表示板



フランスに留学は してみたいけれど・・・ 不安もいっぱい、悩みも

永井 怜子 ● 国際文化学科1年

留学に憧れる理由はいっぱいあるけれど、安全面などの不安もあるし、教職課程と両立できるの？就活に影響はないの？金銭面は？といった現実的な課題もいろいろ。「自分に自信が持てるようになった」という先輩たちの話を、聞いてみたいと思います。

■留学前に取り組もうとしていること 英検準1級取得、仏検準1級取得、TOEIC 730点以上、世界史を学ぶ、日本についての知識を高める



インドネシアの魅力にはまり3度の渡航 将来、進みたい道も見えた

宮村 奏子 ● 国際文化学科4年

1年次の春休みにHabitatの活動でインドネシアで過ごしたことをきっかけに、インドネシア語を履修。2年次の夏休みに1カ月、アイルラング大学での語学研修に参加しましたが、もっと勉強したいと思い、3年次に半年間、留学しました。アイルラング大学には日本研究学科があり、日本の歴史や文化を勉強している人が多く、向こうから話しかけてくれるので、お互いに知りたいことを双方向で学ぶのは楽しく有意義な経験でした。留学中に、現地に根を降ろして働いている日本人たちと知り合ったことや、留学前に立ち寄ったバングラディッシュで病気になり入院した際、ボランティアで働く日本人の看護師さんと出会ったことに影響を受け、「大学を卒業したら就職という以外にも、いろいろな道がある。自分が納得する道を進むべきだ」と思うようになりました。卒業後は専門学校に進んで看護の道をめざし、将来的には、インドネシアの日本人向け診療所で働きたいと思っています。

- 留学先 アイルラング大学【インドネシア】
- 留学時期 3年次 後期【11月～3月5ヵ月間】
- 費用 約30万円＋奨学金2万円/月
- 交換単位 6単位
- 成果 インドネシア語検定C級取得



インドネシアは物価
が安いから金銭的
にもおススメらしい



言葉の壁を越えて「マリンビジネス」を テーマにプレゼン

二村 有香 ● デザイン学部2年



デザインにおける
考え方の違いを
体感できました



アイデア出し・意見交換・プレゼンテーションも全て英語です。



実地調査として
ヨットでクルージング。
初めての地中海でした。

2年次の夏に、SUACの教員、学生含めて10名ほどで、13日間トルコのイズミル経済大学に行ってきました。同大学の学生と一緒に5、6人のチームを5グループをつくり、それぞれのチームが「マリンビジネス」をテーマにエコや観光、イベントといった切り口で様々なモノやコトをデザインし、プレゼンを行いました。私たちのチームは観光の視点から「港町を楽しむポート」のデザインをし、乗っている人が楽しめるだけでなく、まちの美観にも一役買えるという良い評価をいただきました。また、イズミルの学生と実際の企画立案をするうえで違いを感じたことは、段取りや注目するポイントであり、コミュニケーションとして必要なことは、思ったことを言葉に出して伝えることが必要だということです。この交流を通じて、日本をもっと知ってもらいたい、特に日本の伝統工芸を紹介して行きたいという意識を持ちました。来年度はSUACでこの交流事業が開催されるのでぜひ参加したいと思います。

